

今年度研究の成果と課題

成果

・学習環境を整えると表現しやすくなった。話型や話しやすい環境づくり、話し合いの掲示物など。

・グルーピングを行うことで、個々に役割をもたせることや的確な配慮ができた。

共同学習のための効果的なグループ作成をすることができた。

・教員の示したやり方の手法でできるようになった。

自分で選択した課題の解決に向けては、学習を自分事と捉えてすすめることができた。

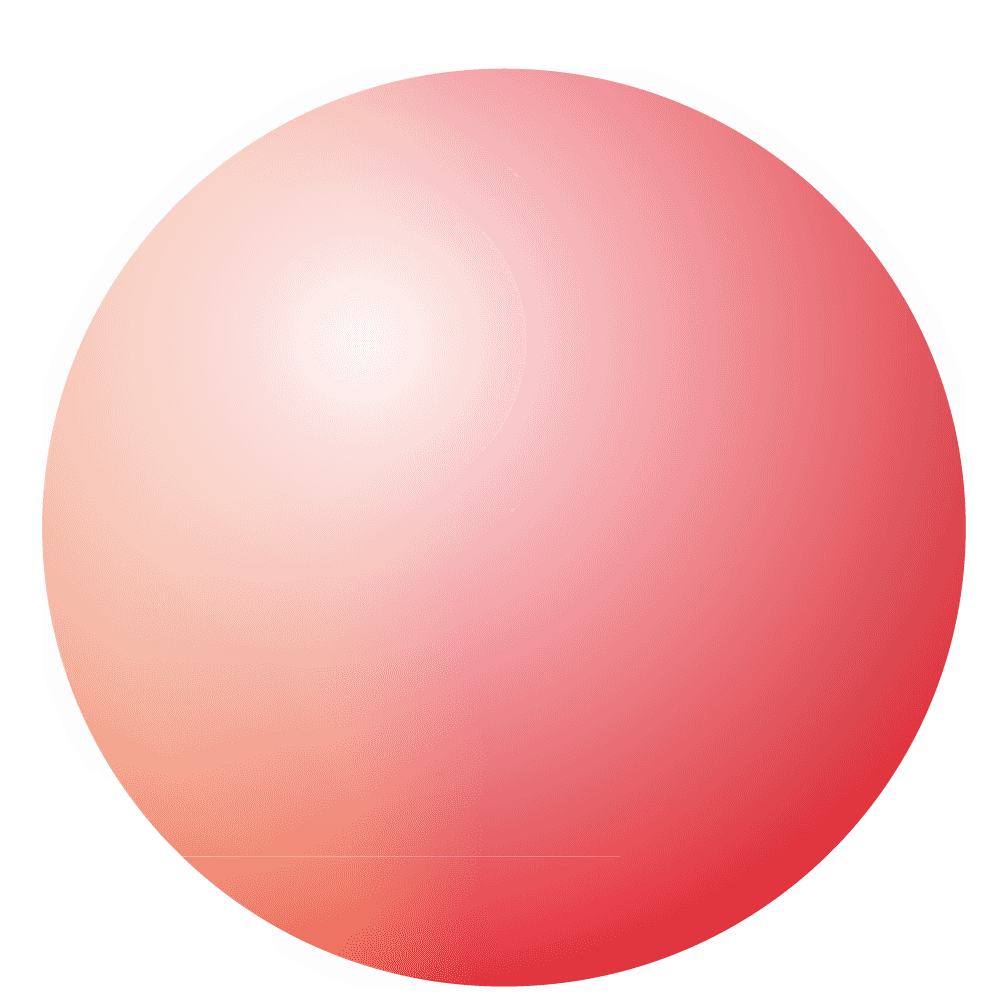
課題

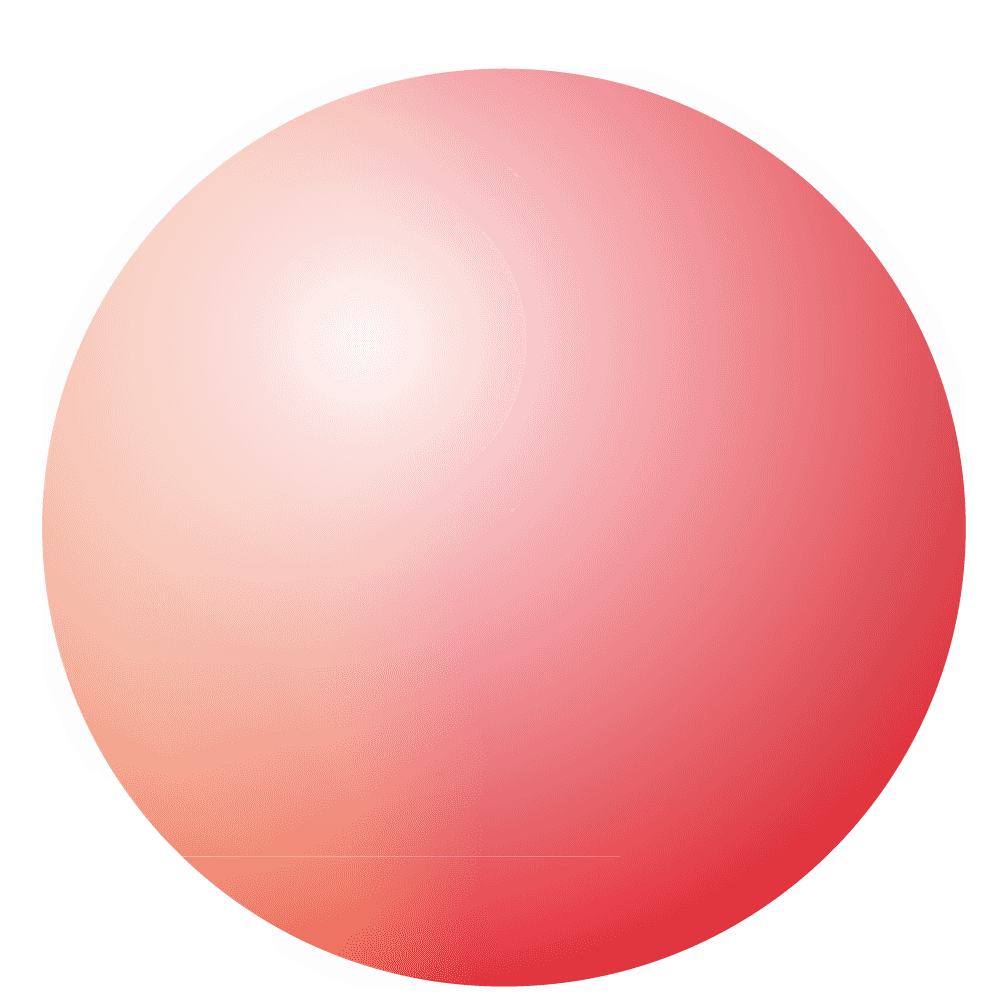
・話し合い活動の意図を明確に示す必要がある。主に１、２年生は「個人」として。３、４年生は「グループ」に。５、６年生は「全体へ向けて」を意識して話し合いの段階を考えて実践する必要があった。

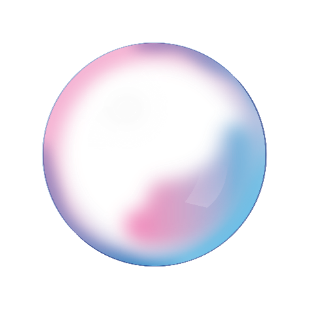
・発言したい思いはあるが、根拠を明らかにすることが難しい。明確にして話し合いを行わせることが大切である。

・教えたことでその場はできるようになったが、定着までには達していない。今後は定着をさせるための取り組みを考える必要がある。

・先生のやり方をとりあえずやってみようはできるが、自分で考えて行動に移すことは難しい。自らすすんで行動ができれば理想的だと考える。

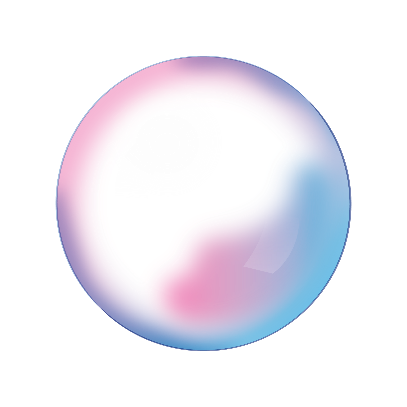
****

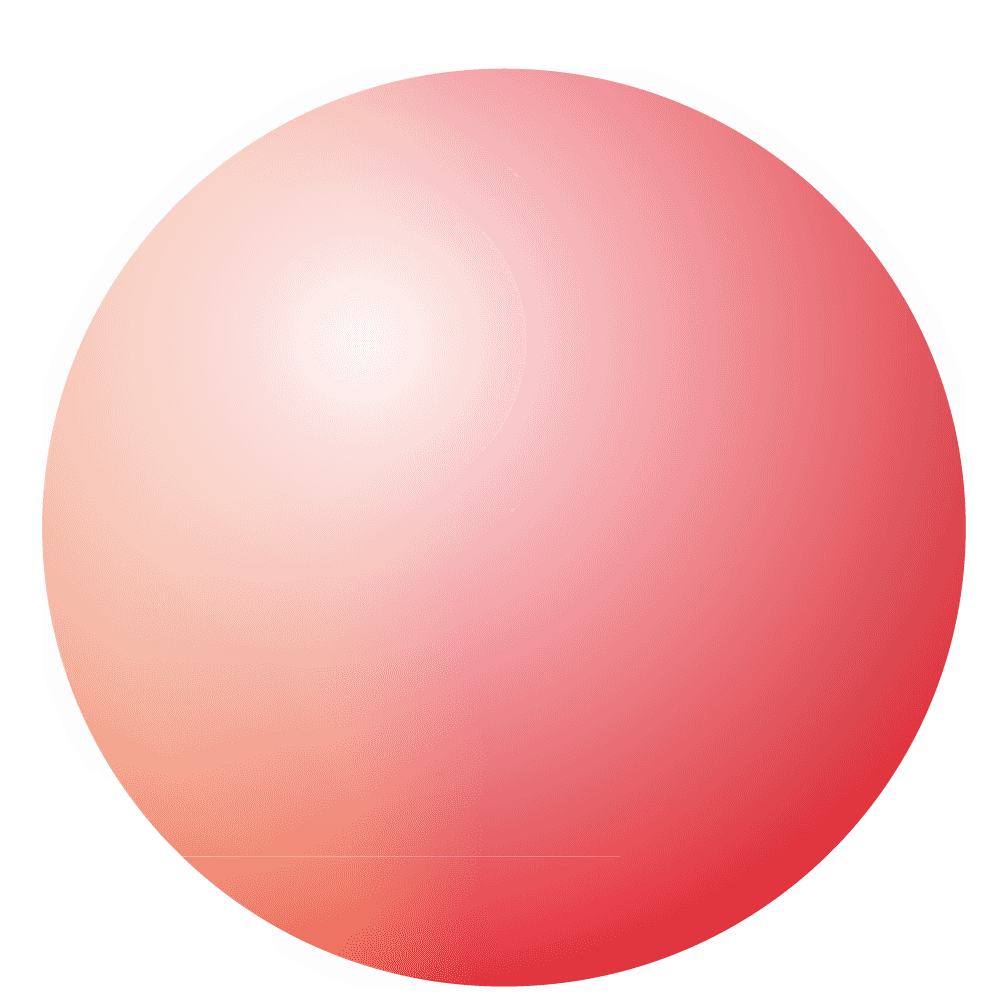
****



大田区教育委員会指導主事　　宮澤 尚 先生

ご指導いただいた先生



****

　　研究に携わった教職員　　　　　　　　　　◎研究主任　　　○研究推進委員　　　★研究授業者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 校長 | 山本 秀一 | 副校長 | 工藤 由美子 |
| １年１組 | ★廣村 悠平 | １年２組 | 大津 裕子 |
| ２年１組 | ○★松橋　勇 | ２年２組 | 森 勝美 |
| ３年１組 | 矢沢　建治 |  |  |
| ４年１組 | ★菅野 政昭 |  |  |
| ５年１組 | ★黛　多聞 | ５年２組 | ◎加藤　哲 |
| ６年１組 | ★山中 真理子 | ６年２組 | ○安澤　昂平 |
| 音　楽 | 鈴木 葉子 | 図　工・家庭科 | 大橋　千晶 |
| 算数少人数 | 小山 文子 | 養　護 | 小野 有紀子 |
| 巡回指導委員 | 小林 直也 | 〇舘野 翔 | ★野村 彩夏 |
| 専門員 | 小林 和夫 |  |  |
| 講 師 | 初谷 涼子 | 小澤 秀行 |  |